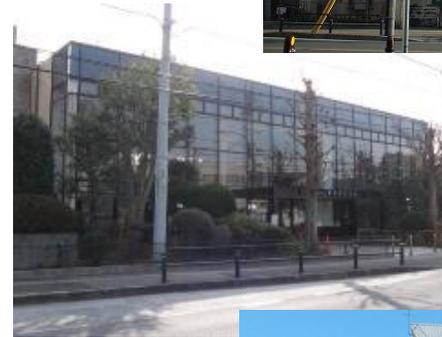


# 大久保地区 公共施設再生事業の 現状について

～習志野の地域の未来プロジェクト I～



平成27年11月17日（火）

平成27年度第1回習志野市公共施設再生推進審議会

 財政部 資産管理室 資産管理課

（写真：上から、大久保公民館・市民会館、大久保図書館、勤労会館）

## 1. 平成27年度の取組

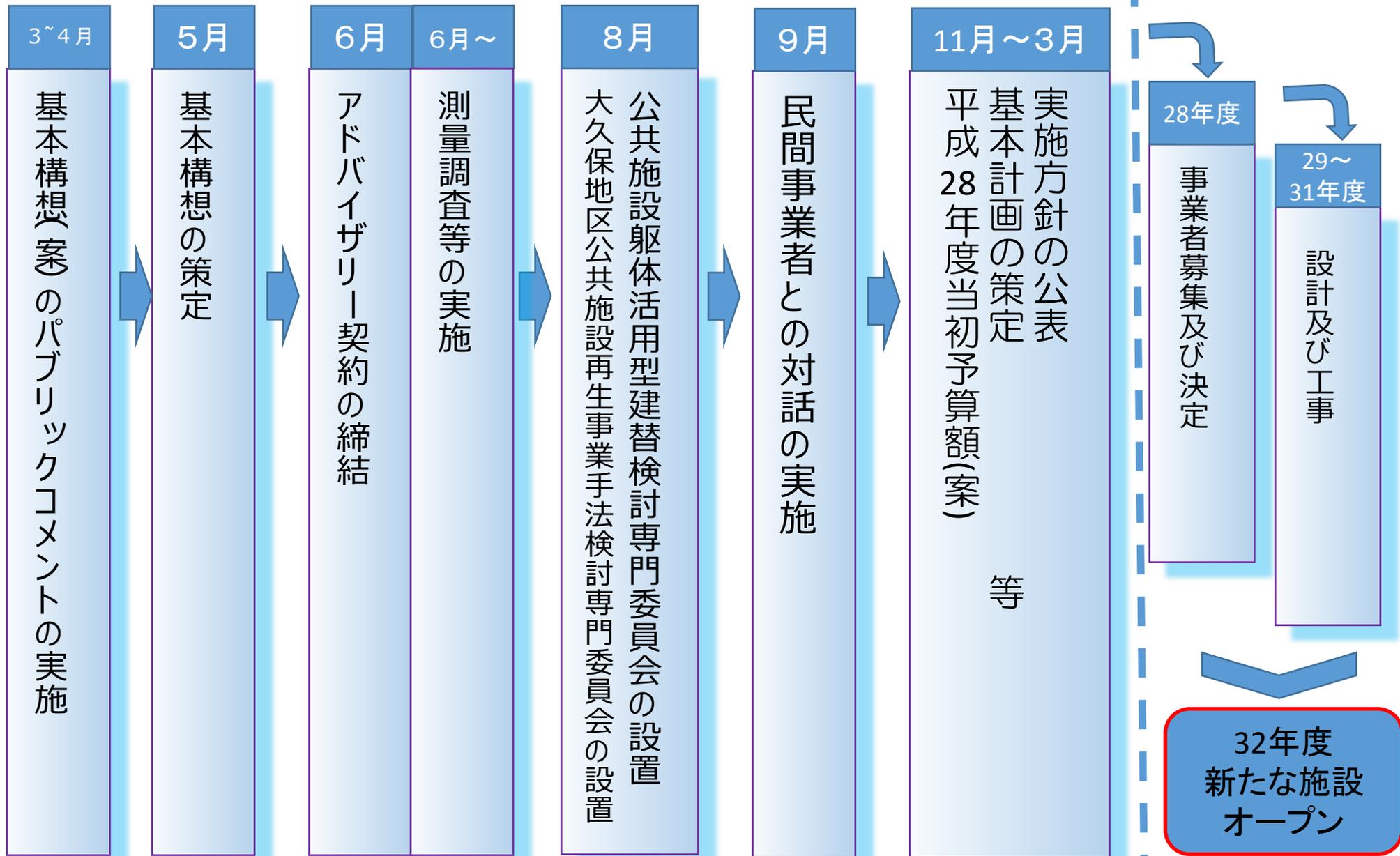
- (1) スケジュール
- (2) 体制

## 2. 基本構想

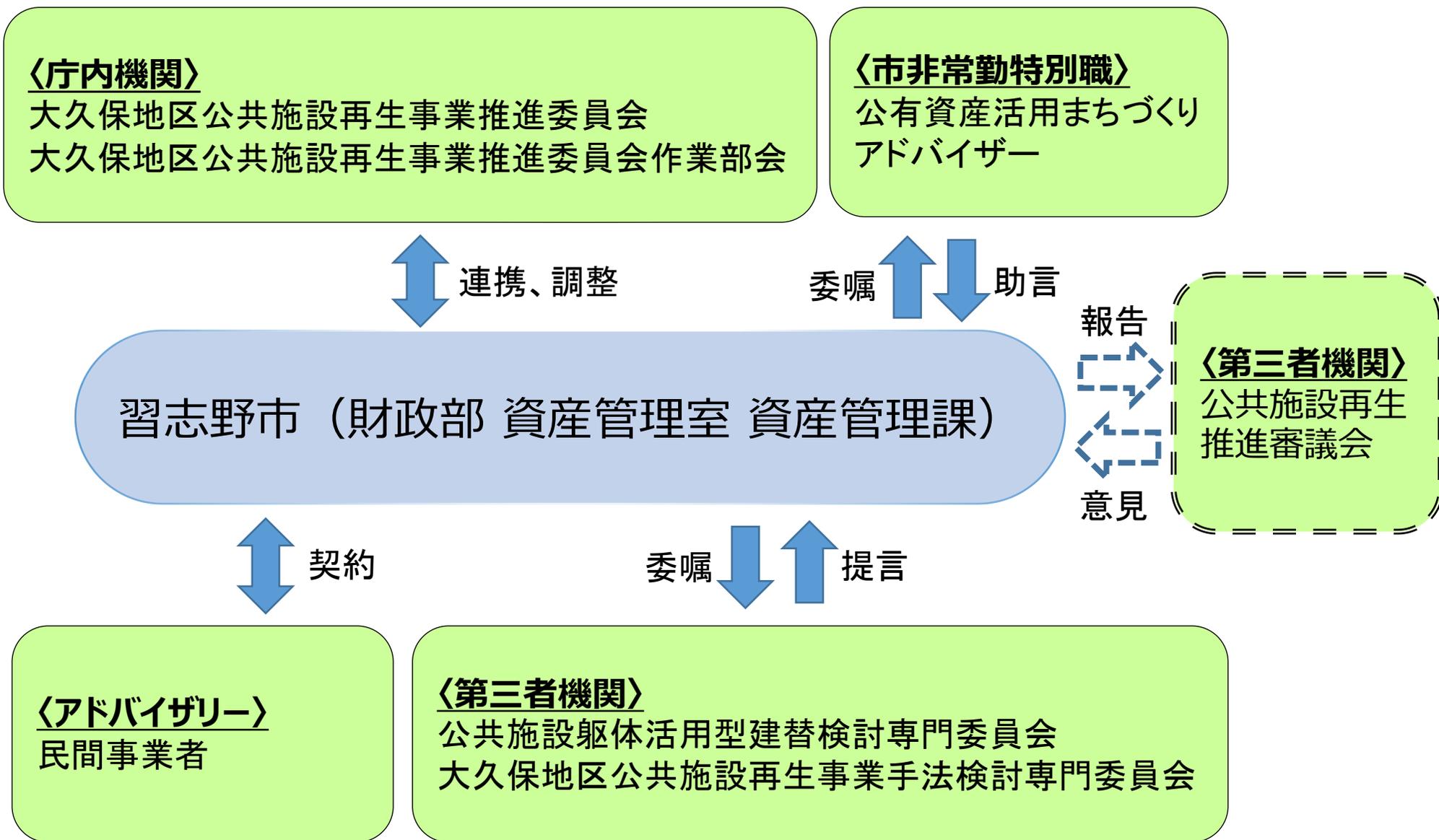
- (1) 基本理念
- (2) 事業の目的及び目標
- (3) 対象施設
- (4) 施設の配置と名称
- (5) 建物整備手法
- (6) 管理運営手法

## 3. 集約対象施設についての取組

# 1. 平成27年度の取組 (1)スケジュール



# 1. 平成27年度の取組 (2)体制



# 持続可能な文教住宅都市の実現

生涯学習の拠点機能を拡充するとともに、  
地域の活性化も図ります。

### 目的

- 将来世代に過度な負担をさせることなく、時代の変化に対応した公共サービスを持続的に提供
- 多世代が交流し、地域コミュニティが活性化する場に
- 市民協働・官民連携で賑わいの創出

### 目標

- 全ての習志野市民のための生涯学習の拠点をつくる。
- 民間活力の導入により、維持管理・運営コストの削減及び多様なサービスの提供
- 躯体活用型建替（リノベーション）や官民連携により、初期費用の抑制



## 2. 基本構想 (4)施設の配置と名称



平成27年度以降に実施する、  
民間事業者からの事業提案を検討し、決定

	IS値 (最小値)
大久保公民館・市民会館	0.33
大久保図書館	0.81
勤労会館	0.67



耐震性能を  
含めて  
躯体の状況を  
総合的に判断

27年度に  
建物の現状に  
関する  
情報を整理

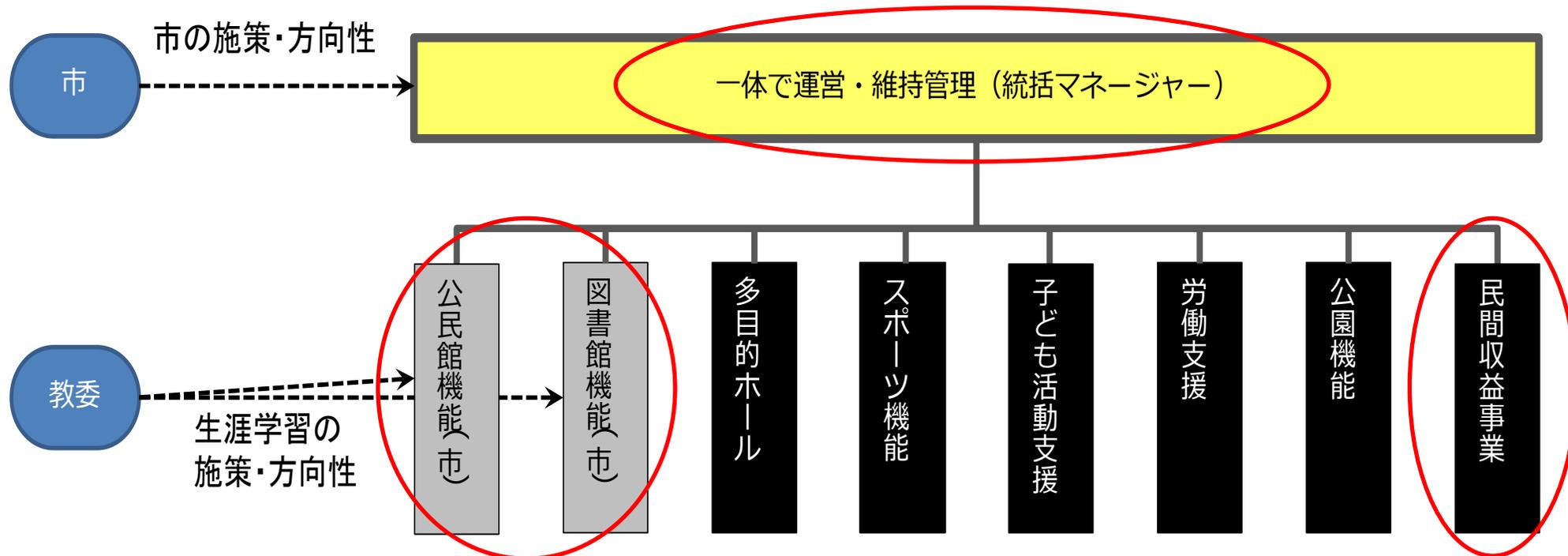
28年度に行う  
事業者募集の  
際に、  
情報を開示

事業者が、新  
築orリノー  
ベーションのどちら  
かで提案

市が提案を審  
査し、決定

# 民間事業者が施設と公園を一体的に運営

ただし、市が直接行う必要がある業務は市が実施



- 建物の維持管理は、一括して民間事業者が実施。
- 公民館及び図書館の運営は市が実施。  
→各地区の公民館、図書館の司令塔の役割

### 3. 集約対象施設についての取組

基本構想に掲げている考え方

財源確保と財政負担軽減を念頭に、その施設跡の利活用について、今後市民の皆様と検討



平成27年度はワークショップ（話し合いの場）を開催

メンバー構成

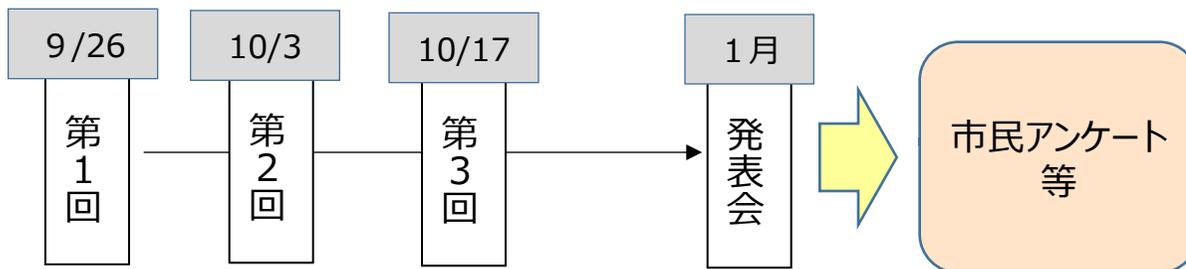
公募	町会代表	利用者代表	大学生	計	× 施設毎に 3グループ	= 27名
3名	2名	2名	2名	9名		

- 公募→対象施設の地域及びその周辺の在住、在勤、在学の方
- 利用者→対象施設のサークル連絡協議会等から推薦
- あづまこども会館は公募の応募がなかったため開催せず

- 町会→対象施設の地域の連合町会から推薦
- 大学生→千葉工業大学、東邦大学、日本大学生産工学部から推薦

スケジュール

(すべて公開)



対象施設のひとつ屋敷公民館